

平成26年9月14日
砧総合支所街づくり課

東名ジャンクション「上部空間等検討ワークショップ」実施にあたって

現在、東京外かく環状道路及び東名ジャンクションの建設が進められていますが、建設完了後の東名ジャンクション上部空間等の利用について、昨年12月から行われている「東名ジャンクション周辺地区街づくり検討会」と並行して検討していくことといたしました。

検討にあたり、平成22年8月に策定した「東名ジャンクション周辺地区街づくり方針」及び、区の政策的な必要性を踏まえて「上部空間等利用計画・検討たたき台」を作成し、本年8月に公表いたしました。

今後、「ワークショップでの検討結果」、「区民からのご意見」、「区の検討たたき台」を踏まえ、本年度末を目途に上部空間等利用計画の素案を作成してまいります。

なお、ワークショップ実施にあたり、東名ジャンクション周辺地区街づくり方針における街づくりの目標や区の行政計画及び重要な行政課題などを記載させていただきますので、検討の参考にしてください。

東名ジャンクション周辺地区街づくり方針（平成22年8月）

（1）街づくりの目標

野川や国分寺崖線などの豊かな自然環境に囲まれ、子どもから高齢者まで誰もが安全・安心に暮らせる街づくり

（2）街づくりの視点

- 安全・安心の街づくり
- 誰もが移動しやすい街づくり
- 生活環境の心地よい緑豊かな街づくり
- 地区の元気を支える街づくり

世田谷区基本計画（砧地域計画 平成25年度）

世田谷区基本計画は行政運営の基本的な指針であり、中長期的な展望を踏まえ、向こう10年間の施策を総合的かつ体系的に明らかにする、最上位の行政計画です。

地域計画は、これまでの地域行政の展開の実績に基づき、地域からの発想により、地域の特性・個性を踏まえて、その将来像を描き、地域における計画を明らかにするものです。世田谷区基本計画の一部を構成し、区内5地域で策定されています。

砧地域計画の「まちの将来像」として以下の3つを掲げています。

- みどりとみずと農の豊かな砧の原風景を未来に引き継ぐまち
- 歴史と伝統を大切に文化とにぎわい・交流の元気のあるまち
- あらゆる世代が健やかでこころふれあう災害に強い安全・安心のやすらぎのあるまち

世田谷区地域防災計画（平成25年度）

東京外かく環状道路は都心に集まる幹線道路と連結するため、震災時にはそのネットワークを生かした救援物資の輸送などが可能となります。

このため、世田谷区地域防災計画において、震災時における外環道及び東名ジャンクションの位置づけが以下のとおり記載されています。

「震災時には、交通ネットワークを活かした救援物資・資機材の輸送路、大型重機の移送路として、大きな役割が期待されている。東名ジャンクションの建設にあたっては、延焼遮断や避難空間などの防災性に配慮した配置・構造となるよう、国や都に要望していく」

世田谷区における地域包括ケアシステム（平成26年度）

2025年には75歳以上の高齢人口が2,000万人を超える未曾有の高齢社会が訪れます。高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、地域ごとの医療・介護・予防・生活支援・住まいの継続的で包括的なネットワークづくりを推進していくことが、地域包括ケアシステムの考え方です。

世田谷区では、この考えを更に進め、高齢者だけでなく、障害のある方、子育て家庭、若者など、支援を必要とするあらゆる人が身近な地区で相談やサービスを受けることができる地域包括ケアシステムの構築をめざしています。

今後、超高齢社会を迎え、地域での支え合いが重要になり、そのためには地域の「顔の見える関係づくり」を地道に進めなければなりません。これからの街づくりは、ハード的な整備だけでなく、「地域コミュニティの場」としての活用も同時に考えていく必要があります。

世田谷区基本計画

平成26年度 ▶ 平成35年度
(2014) (2023)

子どもが輝く
参加と協働のまち
せたがや

世田谷区

砧地域
地域計画
抜粋

砧地域



■面積: 13,566km²

■人口

	推 計			
	平成26年 (2014年)		平成30年 (2018年)	平成35年 (2023年)
	区全体	地域	地域	
総 数	867,552人	156,425人	159,113人	164,155人
年少人口 (0~5歳)	42,699人 (4.9%)	8,922人 (5.7%)	8,853人 (5.6%)	8,918人 (5.4%)
年少人口 (6~14歳)	57,378人 (6.6%)	13,223人 (8.4%)	14,033人 (8.8%)	14,552人 (8.9%)
生産年齢人口 (15~64歳)	597,907人 (69.0%)	103,679人 (66.3%)	103,317人 (64.9%)	106,736人 (65.0%)
高齢者人口 (65歳~)	169,568人 (19.5%)	30,601人 (19.6%)	32,911人 (20.7%)	33,949人 (20.7%)

※平成26年1月1日現在の住民基本台帳人口及び世田谷区
将来人口の推計(平成26年2月)

※推計値は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と年齢
階層別人口の合計が一致しない場合がある。

地域の特徴

地域のなりたちと姿

砧地域は区の西部に位置し、主に住宅地が広がる台地と、農地と住宅が混在する多摩川沿いの平地からなる地域です。台地と平地の境には、貴重な湧水や植物、樹林地を持つ国分寺崖線が広がるみどりとみずが豊かな地域です。

地域内にはみどりと調和した良好な住宅地が広く分布し、世田谷区の代表的なイメージを形成しています。しかし、近年は社宅の廃止や事業所の移転等により大規模な集合住宅も増えています。

野川や仙川の周辺では、紀元前の集落跡や古墳等、多くの埋蔵文化財が発掘されています。また、喜多見地区周辺は、江戸初期に喜多見藩二万石がおかれ、現在の東京23区に該当する区域内では唯一といわれる大名の陣屋が存在した地区であり、慶元寺や氷川神社を始め、歴史と農村文化の名残をとどめる神社・史跡や伝統芸能等の文化遺産も多くなっています。

大正の終わりに成城学園の立地を契機として誕生した成城は、当初より計画的なまちづくりが行われ、にぎわいと落ち着きを併せ持つ「学園のまち」として洗練された雰囲気をもって発展してきました。

比較的古くから大学や映画撮影所、研究所があり、また、近年では世田谷美術館が立地するなど教育・文化施設が多く存在する創造的・文化的環境の高い地域でもあります。

暮らしの姿

砧地域の人口は、平成26年(2014年)1月1日現在、約15万6千人で大規模敷地の土地利用転換等により人口が増加の傾向にあります。人口密度は他地域と比べて最も低くなっています。年齢構成は、区の平均と比較して乳幼児と青少年人口が多く、従前は高齢者の割合が低くなっていましたが、近年は高齢化率の上昇が著しく区の平均と同じ割合になっています。10年後の将来人口予測では、人口の伸びが一番大きい地域でもあります。

砧公園など大規模な公園が立地し、住民一人あたりの公園面積は区内5地域の中で最も広く、地域のみどり率も30%を超え最も高くなっています。また、区内の生産緑地の約4割が砧地域に存在し、都市化の進展にもかかわらず多くの農地が残されているなど、みどりとみずの豊かな環境に恵まれています。しかしながら、みどり率、農地面積ともに漸次減少傾向にあり、みどりの創出や農地の保全が求められています。

また、小田急線については、喜多見駅から梅ヶ丘駅間の連続立体交差事業が終了しましたが、駅前広場や側道については引き続き整備が進められています。道路・交通環境の面では、環状8号線が南北に通っているものの、地域内の道路ネットワークはまだ十分に形成されておらず基盤整備が不十分な状況です。コミュニティバス路線が、地域の交通機関として大きな役割を担っています。

地域の南西部では、東京外かく環状道路の建設が始まっており、今後の地区の変化を見据えた街づくりが求められています。

にぎわいと地域の活動

小田急線の千歳船橋駅から喜多見駅までの各駅周辺には、ウルトラマン商店街をはじめ地域の特性に合った個性的な商店街があり、区民の生活を支えています。

また、農地では野菜を中心に様々な農作物が作られており、地域内の多くの直売所等で販売されるなど地産地消の農業が展開されています。

岡本公園民家園や次大夫堀公園民家園では、往時の世田谷の農村風景と生活環境などを再現し、四季折々に様々な催し物を行い、現代に生きる文化財として注目を集めています。

昭和53年(1978年)から開催されている「たまがわ花火大会」は、夏の風物詩として定着し、多くの人びとに親しまれ区民の「ふるさと」意識と「区民相互の連帯」意識の醸成に役立っています。

砧地域では、住民が中心となり、文化創造や福祉につながる活動、環境を守り育てる活動など住民主体のまちづくり活動が盛んに行われています。特に、町会・自治会等による高齢者の支え合い活動が多くこの地区で行われる等、区民活動がますます活発になっています。また、地域の絆や区民の防災力を高める活動も多くなっています。

「祖師谷ふるさとフェスティバル」や「成城さくらフェスティバル」、「船橋ふれあいまつり」、「喜多見地区区民まつり」、「砧地区緑化まつり」等地区ぐるみの祭りが定着し、住民相互の交流も活発に行われています。

まちの将来像

みどりのみずと農の豊かな 砧の原風景を未来に引き継ぐまち

- 国分寺崖線や野川、仙川、多摩川など、みどりのみずの保全に努めるとともに、自然を守り育成する良好な住環境に恵まれたまちづくりを総合的に推進します。
- 公共施設の緑化や民間住宅等の建築の際の緑化指導を進め、みどりを創出するとともに、みどりのみずのネットワーク形成を図る等、質の向上に努めます。
- みどりの育成に必要な地下水を涵養し、貴重な湧水地の保全を図ります。
- 地域に分布する都市農地を、ふれあいのある農業の拠点とするとともに、農のある風景や風土を地域の資源として保全していきます。
- 東京外かく環状道路と周辺のみどりのみずが調和したまちづくりをめざします。

歴史と伝統を大切に 文化にとぎわい・交流の元気のあるまち

- 「田園都市」「学園都市」として、人・自然・文化の調和のとれたまちづくりをめざすとともに文化遺産、文化施設、運動施設や公園等、地域の資産や資源を継承・活用した地域特性あふれるまちづくりを推進します。
- 地域のまちづくり活動を支援し、大学や事業者等の地域活動とも連携、交流して、協働によるふれあいとにぎわいのあるまちづくりを推進します。
- 地域と学校の交流を積極的に推進し、小・中学校施設を地域住民のさまざまな活動の場として活用していきます。

- 多様な学習意欲に応える生涯学習の環境づくり・プログラムづくりを行い交流の場を広げます。
- 地域や地区の生活の拠点として、商店街におけるにぎわいと元気あふれるコミュニティの形成を推進します。

あらゆる世代が健やかでこころふれあう 災害に強い安全・安心のやすらぎのあるまち

- 支援を必要とするすべての人が、身近な地域で相談し、適切な支援が受けられる地域包括ケア体制の構築に向け、率先して取り組みます。
- 先駆的に進めてきた医療・介護・福祉の連携を基盤として、地域の絆を深め、顔の見える関係づくりを進めます。
- 地域で安心して子育てができるよう、子育て相談や各種健診、児童虐待予防対策を充実させるとともに、すべての子ども・若者がいきいきと学び暮らせる環境を整備します。
- 区民一人ひとりがより良い生活習慣を身につけ、運動をはじめとする身体活動による生活習慣病予防や食育等、健康づくりの活動を通じて、こころ豊かな暮らしを育むまちをつくります。
- 地域を支える道路ネットワークの整備を始めとする基盤整備により、安全性や利便性を向上させるとともに、地震や水害など災害に強い安全・安心なまちづくりに努めます。
- 防災訓練や避難所運営訓練等を通じて地域住民の防災意識の高揚と防災行動力の向上に努め、地域全体の防災力を高めます。

地区ビジョン

祖師谷地区

笑顔あふれる支えあいのまち 祖師谷

船橋地区

みんながつくる賑わいと活気のあるまち 船橋

成城地区

みどりと文化の薫る学園都市 成城

★
砧総合支所

喜多見地区

歴史と自然を守り子ども達で活気あふれるまち 喜多見

砧地区

まちを知り、まちを守り、次代を育み、未来を語り合う交流の輪が広がるまち 砧

地区におけるまちづくり活動の目標〈地区ビジョン〉

砧

祖師谷地区〈祖師谷、千歳台〉

笑顔あふれる支えあいのまち 祖師谷

地区の中心を南北に走る祖師谷通りには活気あふれる商店街があります。この賑わいをより発展させ、地区に住む誰もが笑顔で行き交うことができる支えあいのまちの実現に取り組みます。

成城地区〈成城〉

みどりと文化の薫る学園都市 成城

成城学園と共に発展してきた成城のまち。そこに息づく様々な歴史や自然・文化的資産の特色を生かし、協働に基づく魅力あるまちづくりの推進を図ります。

船橋地区〈船橋、千歳台〉

みんながつくる賑わいと活気のあるまち 船橋

「森繁通り」の活性化や駅前広場の活用による周辺商店街の発展や「船橋の小径」等地区名所のPR、地区のおまつりやイベント、「子どもぶんか村活動」をはじめとする船橋地区独自の活動等の更なる充実により、賑わいと活気あふれるまちをつくります。

喜多見地区〈喜多見、宇奈根、鎌田〉

歴史と自然を守り子ども達で活気あふれるまち 喜多見

喜多見地区の特色であるみどりとみずの豊かさ、次大夫堀公園や二子玉川緑地などで行われている自然とのふれあい活動などをより広げ、次代を担う子ども達が元気に集い、健康やかに育つまちをつくります。

砧地区〈岡本、大蔵、砧、砧公園〉

まちを知り、まちを守り、次代を育み、未来を語り合う交流の輪が広がるまち 砧

砧・大蔵・岡本、それぞれのまちの伝統・文化やさまざまな資産を大切にし、尊重しあい、助け合い、健やかな未来を語り合えるまちをつくります。



次大夫堀公園の田植え



たまがわ花火大会



国分寺崖線と野川

魅力あふれる上部空間の実現に向けて

東名ジャンクション
上部空間等検討ワークショップ
第1回

平成26年9月14日

日本大学 理工学部 交通システム工学科

稲垣 具志



自己紹介

稲垣 具志 (いながき ともゆき)

博士 (工学)

日本大学 理工学部 交通システム工学科 助教

【略歴】

- H9～ 大阪府立大学 工学部 電子物理工学科
- H14～ 大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻
- H20～ 公益財団法人豊田都市交通研究所 研究員
- H23～ 成蹊大学 理工学部 システムデザイン学科 助教
- H26～ 日本大学 理工学部 交通システム工学科 助教

【研究テーマ】

道路交通の安全性評価、移動制約者の支援対策
地域計画における住民参画
地域公共交通の導入・運営手法



2

学外での活動

【社会活動】

- 豊田市 通学路整備推進担当者会議 委員 (H22)
- 二子玉川商店街振興組合 交通アドバイザー (H23～)
- 二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 委員 (H24～)
- 西東京市 交通計画策定委員会 委員長 (H24～25)
- 西東京市 地域公共交通会議 副会長 (H25～)
- 武蔵野市 自転車等駐車対策協議会 委員 (H25～)
- 二子玉川通り名検討委員会 委員長 (H25～)
- 東京都 福祉のまちづくり推進協議会 委員 (H26～)

【現在の主な学会活動】

- 土木学会 土木計画学研究委員会
 - 移動権の考え方に基づく移動環境の整備・評価に関する研究小委員会 幹事
- 交通工学研究会
 - 自転車通行を考慮した交差点設計の手引小委員会 幹事

ほか 3

本日の話題

【話題①】

住民主導型まちづくりの事例紹介
～玉川ゾーン30推進の取り組み～

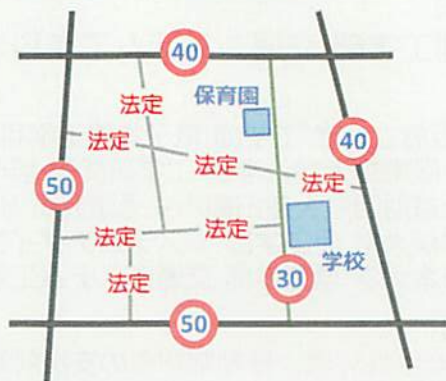
【話題②】

魅力あふれる上部空間の実現のために

4

話題① 生活道路安全対策「ゾーン30」とは？

従来の生活道路の速度規制

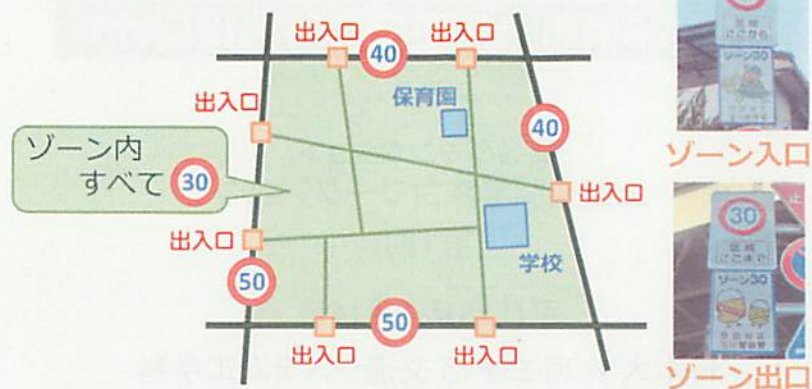


- 沿道に小学校・保育園・商店街などの施設
⇒ 特に歩行者を守るべき道路 ⇒ 低速の速度規制（線的）
- ほかの生活道路は最高速度指定ナシ ⇒ 法定速度

5

ゾーン30とは？

ゾーン30では...



- 区域（ゾーン）を定めて面的に30km/h規制
- 生活道路問題の根源は抜け道交通 ⇒ ゾーン出入口が重要！

6

ゾーン30で大切なこと

「ゾーン30＝面的速度規制を入れること」
だけではない！

- 規制が守られるための工夫が不可欠
- 地域の合意形成と行動が不可欠

【玉川のゾーン30のすごいところ】

- 住民発意型（すくなくとも都内初）
 - 地域が主体となって様々な実態調査を実施
 - 多様な地域関係者間の連携
 - 行政・警察機関との建設的なコミュニケーション
- 住民率先型
 - 住民が率先的に安全な運転をしめそうという意識
 - 導入後の能動的・具体的な行動計画

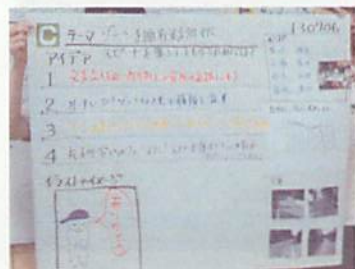
7

玉川ゾーン30推進の取り組み



8

ゾーン30検討ワークショップ



17

子どもを対象としたワークショップ



18

世田谷総合高校における自転車教育



19

ビデオを見ながら違反チェック



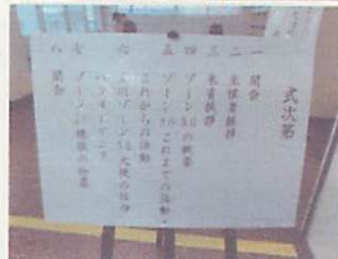
20

現場でのスキット(寸劇)で正しい走り方を表現



21

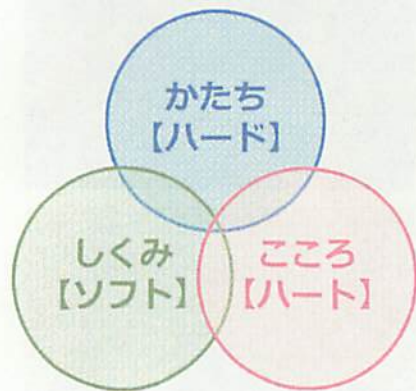
ゾーン30開始セレモニー・除幕式



22

話題② 魅力あふれる上部空間の実現のために

● まちづくり計画の重要な枠組み



- **かたち【ハード】**
 - 公共施設の配置
 - 機能補償道路の整備
 - 景観の配慮
- **しくみ【ソフト】**
 - 地域率先型の活動体制
 - 運営支援制度の整備
- **こころ【ハート】**
 - 環境教育・生涯学習
 - 相互理解・共助
 - 地域への愛着心

23

交通安全対策におけるハード整備

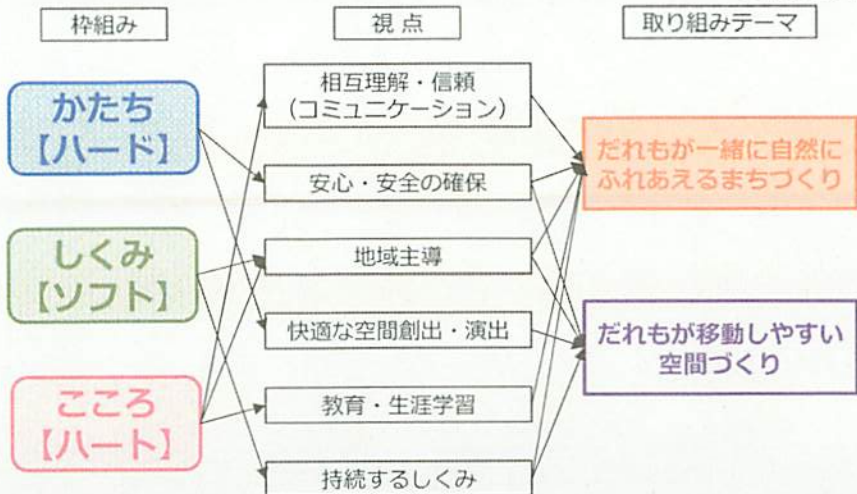


24

かたち・しくみ・こころのまちづくりの事例

● 守山市ユニバーサルデザインのまちづくりアクションプラン

参考: 守山市ウェブサイト



25

ジャンクションの到来を契機に...

ジャンクション周辺
まちづくり方針の持続的実現
(ハード・ソフト・ハート)

地域の
能動的活動

事業者の
協力

行政・警察の
サポート

魅力ある上部空間
の創出

ブランドの醸成

砦の原風景を
未来に引き継ぐ
まちづくり

「何を整備して」⇒「どう利用する」ではなく、
「空間の魅力を高めるために、

そこで誰がどのような活動をするのか」

それを実現するための「かたち」「しくみ」「こころ」の整備は？

26

ご清聴ありがとうございました

稲垣へのお問い合わせはこちらまで
inagaki.tomoyuki@nihon-u.ac.jp



27

28